

各 JIS 規格の改正の概要

JIS T 7333 屈折補正用眼鏡レンズの透過率の仕様及び試験方法

・本規格は、アンカットフィニッシュ眼鏡レンズ及び枠入れされた一対のレンズの太陽放射減衰を含む透過率特性に関する要求事項について規定したもので、対応国際規格 ISO 8980-3 を基にしている。ISO 8980-3 は、最新の技術水準を反映するため、特に紫外線に対する対策を施したレンズの紫外線のカット率を標榜する場合の要求事項の追加、使用に適さないことを示す警告表示に関する要求事項の追加などを行い、2022 年に改訂された。このような状況から、製品品質の確保・向上及び利用者・消費者に対する安全性の向上を図るために、対応国際規格との整合を図るとともに実態に即した JIS に改正するものである。

・今回の主な改正は、以下のとおり。

- ✓ 適用範囲において、枠入れされたレンズについては、JIS T 7337(屈折補正用枠入り眼鏡レンズ)において規定されたため、枠入れされていない玉形加工済レンズへ変更する。
- ✓ 偏光レンズへの要求事項において、枠に入っていない状態のレンズの偏光方向を測定するための基準及びマークに関する規定を追加する。また、現行規格の“枠入れされたレンズのための手順”は削除する。
- ✓ 紫外吸収率又は透過率特性の標ぼう(榜)において、近年の技術水準に対応した特に優れた太陽紫外線に対する対策を行ったレンズについて、その吸収率又は透過率に関して標ぼう(榜)する場合の規定を追加する。
- ✓ フォトクロミックレンズの透過率特性及び試料における、装置の光源について、ランプを 1 個使用する場合又は 2 個若しくはそれ以上の個数使用する場合の規定を追加する。
- ✓ 識別において、適切に利用されることを確保するため、使用に適さないことを示す警告文の記載及び／又は図記号での表示の規定を追加する。